

様式第2号（第5条関係）

令和4年8月19日

受 講 報 告 書

栗山町議会議員 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 齊 藤 義 崇



このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 研 修 日 令和4年7月31日
- 2 目 的 オンラインによる交流会議 受講
- 3 研修内容 市民と議員の条例づくり交流会議2022【夏のオンライン】
「コロナ禍3年と自治体議会2023統一選へ向けた課題と論点」
 - ・基調提起 廣瀬克哉氏（自治体議会改革フォーラム呼びかけ人
代表／法政大学総長）
 - ・課題提起 長野 基氏（東京都大学准教授）
 - ・課題提起 土山希美枝氏（法政大学教授／第33次地方制度調
査会委員）
- 4 関係書類 別紙のとおり



市民と議員の条例づくり交流会議2022【夏のオンライン】

コロナ禍3年と自治体議会 2023年統一選へむけた課題と論点

2022年7月31日(日) オンライン開催



市民と議員の条例づくり交流会議2022【夏のオンライン】コロナ 禍3年と自治体議会 2023年統一選へむけた課題と論点

日時

市民と議員の条例づくり交流会議2022【夏のオンライン】

コロナ禍3年と自治体議会 2023年統一選へむけた課題と論点

来春に迫る統一自治体選挙は、コロナ禍から3年間の経験を踏まえた、自治体の政治的選択の機会となります。今回のパンデミックの中では、実際に現場に集うことができないという事態は生じないで済む可能性が高いと見込まれますが、だからもう大丈夫だと考えて備えを具体化せずに済ませてしまうことは、典型的な危機管理の欠陥と云わざるをえません。それならば、この間の経験を踏まえて、今後最低限対応しておかなければならないことは何か。オンラインを含めた議会の機能の持続という観点と、危機対応に忙殺される中で健全なチェック機能を含めた自治体の機能の継続という観点の両面から、改めて課題を整理します。

その一方で、議員の担い手不足の地域と空前の候補者ラッシュの地域との二極化や、地域社会の構成の多様性を議員集団が十分に反映できていない状況など、コロナ前から指摘されてきた課題は今も私たちの前にそのまま残っています。

2023年統一自治体選挙に向けて、あらためて焦点を整理し、その選挙が育みある選択機会となるよう、どのように取り組んで行くべきか。2022年夏の交流会議は、そんな課題共有の場として開催します。

開催概要

日時：2022年7月31日(日) 14時-16時30分(終了後、17時より交流会を予定)

方法：オンライン開催(ZOOM)

定員：80名(先着順)※申込締切：7月29日(金) 14時

主催：市民と議員の条例づくり交流会議・自治体議会改革フォーラム

参加費：都道府県・市議会議員5000円、町村議会議員3000円、市民(一般・議員以外)2000円

申込：Peatixサイトよりお申込ください <https://jourei20220731.peatix.com>

(ご本人名義・連絡先にてご登録・お申込ください。7月29日(金) 14時以降にメールにてご案内します)

(取材参加希望の方は、お名前・ご所属を明記の上、メールにてご一報ください)

プログラム(2022年07月11日現在)

基調提起 廣瀬克哉(自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表/法政大学学長)

課題提起 長野 基(東京都市大学准教授)

土山希英枝(法政大学教授/第33次地方制度調査会委員)

(終了後、17時より交流会を予定)

お問い合わせ：事務局(担当：亀井) 〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F

Mail jourei@jourei.jp TEL 03-3234-3808

(リモート対応中です。ご連絡はメールまたは 090-4366-3095までお願いいたします)

2022/07/31(日)

14:00 - 16:30 JST

会場：オンライン

参加方法：オンライン

議員(都道府県・市区議会議員) ¥5,000

議員(町村議会議員) ¥3,000

市民(一般・議員以外) ¥2,000

登壇者スタッフ登録用(関係者)

チケットを申し込む

※ 完切・販売終了前に通知

市民と議員の
条例づくり交流会
議【オンライン】
7月31日(日) 14時-16時30分
※ 参加費は別途

条例づくり交流会議

主催者へ連絡

グループをフォロー

日 時	令和4年7月31日 午後2時～午後4時30分
視 察 先	役場議員控室
調査事項	市民と議員の条例づくり交流会議 2022【夏のオンライン】 コロナ禍3年と自治体議会 2023 年統一選へむけた課題と論点 「議員が守るべき政治倫理とは」
対 応 者	基調講演 廣瀬克哉 氏（自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表／法政大 学総長） 課題提起 長野 基 氏（東京都立大学准教授） 土山希美枝 氏（法政大学教授／第33次地方制度調査会委員）
1. 視察目的	7月31日、議会控室でオンラインによる「市民と議員の条例づくり交流会議 2022【夏のオンライン】」に参加した。午後に2時～4時30分まで行われた。
2. 視察内容	基調提起では「コロナ禍の経験を受けて自治体議会が問うべきもの」と題して、廣瀬克哉氏（自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表／法政大学総長）が、春に迫る統一自治体選挙は、コロナ禍から3年間の経験を踏まえた、自治体の政治的選択の機会となることを重要であると明言し、今回のパンデミックの中では、危機管理体制が重要であると唱えた。コロナ禍の経験を踏まえて、今最低限対応しておかなければならないことは、BCP 等オンラインを含めた議会の機能の持続であると提言された。
① 背景	当議会でも BCP を策定したが、具体的な訓練の実施など講演の内容を参考に改善をする必要があると感じた。
② 特徴	次に課題提起として、「女性議員を巡る変化の動向と議会への市民参画」と題し、長野基氏（東京都立大学准教授）から、昨今の女性議員の成り手の状況や、議会の多様性が重要であることから、世代や性別が均一になることが理想であること、そのために定数の維持が必要であるという提言があった。
3. 主な質疑	当議会でも成り手不足が深刻であるので、今後の特別委員会の審議に役立つ内容であった。
4. 考 察 （感想、政策提言、課題など）	最後に課題提起として「市民と議会の「もやい直し」 政策議会の課題共有」と題して、土山希美枝氏（法政大学教授／第33次地方制度調査会委員）から、議員の担い手不足の地域と空前の候補者ラッシュの地域との二極化や、地域社会の構成の多様性を議員集団が十分に反映できていない状況など解説を受けた。コロナ前から指摘されてきた課題とコロナで生じた政策課題について

でも情報提供があり、市民と議会の課題共有が重要であると提言もされた。その通りであると実感できた。

3名の先生方から講演をオンラインで受けたが、講演内容は十分に理解することができた。ただ、質疑等のディスカッションはオンラインであるせいか、十分にではなかったと感じた。

また、時間の都合上、当議会控室で、9名が参加したが、講義のあと即時解散となったが、講演終了後にそのメンバーで講演内容やオンラインに関する事項について、ディスカッションできればよかったと、のちに思った。